

# 2022年度 学生懇談会

大学に対する意見・質問事項一覧

## 学生懇談会 大学に対する意見・質問事項一覧

○学生支援(奨学金、授業料免除、学生宿舍、就職活動等)に対する意見・質問・要望等			
	意見・質問事項	担当部署	回 答
1	研究生として所属している留学生在学生寮に住めずに、安全なアパートを自分で探すことに苦労していた。研究生に対する住まいの支援がもう少し充実していても良いのではないだろうか。	国際課	住居探しについて個別相談に応じ、随時紹介を行い、チューターによるサポートも行っていますが、今後は入学前案内に当該情報を記載するなど、広く情報提供に努めます。
2	現在、音羽館へは4月、10月のみの入寮になっているが、この時期以外にも入寮可能にすることは難しいのか。	学生・キャリア支援課	音羽館については、長期的な入寮計画に基づき入寮者の募集を行っているため、年度の中途での募集は基本的に行わないこととしています。なお、令和4年度のように、空室状況によっては、例外的に10月募集を実施することもありますので、大学ホームページ等にて募集情報をご確認ください。
3	音羽館に入寮しているが、休日にも南門を開門して欲しい。特に、有楽町線の護国寺駅を使いたい場合、正門から遠回りをする必要があり、やや不便に感じている。警備や予算の関係もあると思うが、大学側の現時点での方針や考えを知りたい。	学生・キャリア支援課	南門はキャンパス全体の防犯対策という観点から、土日祝日に開放しないこととしており、これをすぐに変更することはできません。本年4月に音羽館が開寮したことで、キャンパス内の人の在り様は大きく変化し、既存のルールが馴染まない場面も見受けられます。大学としては、現状を新たな課題を把握する段階と捉えています。警備を所掌する企画戦略課(危機管理担当)とともに、キャンパスの安全性と利便性を総合的に考えながら、南門の取り扱いについてあらためて考えて参ります。
4	2021年度に、小石川寮に外国人留学生在が入寮できない理由の質問、それに対し入寮の可能性を検討する旨の回答があった。その後どのような議論がなされているのか。現在、留学生在は音羽館に入寮できるが、寮費は小石川寮の方がずっと安く、留学生在のニーズもあり続けている。留学生在という理由で経済的な負担が少ない寮を使う選択肢が閉ざされるのは、不平等と感じる。小石川寮は学生の自治で運営されているとのことだが、留学生在を受け入れる本学においては、言語や文化の違いを乗り越えた自治を目指すのも重要な役割ではないか。	学生・キャリア支援課	小石川寮への外国人留学生在の入寮は、2024年4月を予定しています。今年度に使用した小石川寮の募集要項にはその旨記載しています。留学生在受入れについては、来年度中に寮の自治会と相談しながら、必要な対応を事前に検討する予定です。
5	2021年度に、修業年限を超えた在学の博士後期課程の学生(4年目以降)を対象に行われている経済的な支援についてご回答をもらった。留学生的の場合、修業年限以内の学生のみは国際課の奨学金登録申請の対象となっていることが続いているが、この制限をご解除いただきたい。	国際課	留学生を対象とする大学推薦の民間奨学金において、修業年限を超えた学生は申請資格を有さない場合が多いため、現行は奨学金登録申請の対象外となっていますが、今後修業年限を超える学生も対象に含めることができるか、本件を所管する委員会にて年内に審議することとします。
6	半年に一度の授業料減免の申請の手続きが煩わしい。ほかの国立大学では年に一度の申請で前期・後期両方の申請が可能である。このように改善していただければありがたい。	学生・キャリア支援課	授業料免除は国の予算により運営されており、所定のルールに則って半年に一度募集を行い、必要最低限の書類をご提出いただいている状況にあります。煩雑な手続きとなりますが、ご理解の程よろしく申し上げます。

## 学生懇談会 大学に対する意見・質問事項一覧

○学生支援(奨学金、授業料免除、学生宿舎、就職活動等)に対する意見・質問・要望等			
	意見・質問事項	担当部署	回 答
7	修業年限を超えたら授業料免除がなくなるが、新型コロナ禍が研究活動に与える影響を考慮すべきではないかと考えられる。	学生・キャリア支援課	コロナ禍以降本学は様々な修学支援は行ってまいりましたが、授業料免除は国の予算により運営されており、決められた制度と予算の枠組みの中で免除する学生を決定しています。ご理解の程よろしく申し上げます。
8	学会参加のための費用(大会参加費や旅費)について、博士前期課程から活用できる支援があるとありがたい。早期から研究者としての交流の場に出やすいと、アカデミックな進路を考える学生の増加にもつながるのではないかと。	学生・キャリア支援課	本学は博士前期課程進学者に対し、学部4年次に応募し進学後に受給できる予約型奨学金(桜蔭会研究奨励賞、小澤美奈子奨学金)、また研究活動への支援として研究奨励金(アバナード研究奨励金など)もあります。これらは、学会参加のみに用途を限定していませんので、ご希望に応じた支援を受けることができます。是非ご活用いただきたいと思います。
9	お茶大SCCにRAとして在寮しており、多くの方々にお茶大SCCの魅力を知ってほしいと考えているが、学内での知名度が低い、学外から情報が入手しにくいなどの課題があるようだ。今後お茶大SCCの広報活動を強化する予定はあるか。	学生・キャリア支援課 学生・キャリア支援センター	お茶大SCCについては、これまでも学内外を問わず広報を行っているところですが、より多くの方にお茶大SCCを知っていただくため、今年度より新たな試みについても検討し、オープンキャンパスでの広報活動など、実際に実施しているものもあります。広報を強化するにあたりましては、SCC寮生と大学との更なる連携が必要不可欠となりますので、引き続きご協力をお願いします。
10	大学の方に自分の悩みを相談したいと感じた際、ハードルが少し高いように感じる。(例えば学生相談室が予約制であったり、メンタルヘルスのアンケートで、悩みがある→どんな悩みか約〇字で簡潔に記載してください、という部分があったりして、悩みを相談しにくいと感じた。)学生が気軽に相談できるような工夫があればよいと考える。	学生・キャリア支援課	学生相談室やメンタルヘルスアンケートについては、学生の皆さんのお話をじっくりお聴きするため(1回45分)の予約制や、どのような悩みを抱えているのかを調べるため事前に状況をお伺いする形式となっております。学生センター棟2階の学生・キャリア支援課には「なんでも相談窓口」がございますので、気軽に相談したいという方はこちらにお越し頂けますと幸いです。

## 学生懇談会 大学に対する意見・質問事項一覧

○教務(教育課程、履修登録、教員免許、各種証明書等)に対する意見・質問・要望等			
	意見・質問事項	担当部署	回 答
1	教職関連の連絡事項がポータルサイトのみで載せられていると、気が付くのがぎりぎりになってしまうこともあるため、OchaMailでも情報を共有していただくとありがたいと思つた。	学務課	Ochamailは広い範囲の学生の皆さんに周知することを目的としていることから、教職関連を含め資格に関係する連絡はポータルサイトで情報を発信しております。また資格関連は各自で手続きが必要な事項も多いことから、定期的にポータルサイトをチェックして情報を蒐集する習慣を身につけていただくことも必要と考え、この様にさせていただいております。入学時にご説明もさせていただきましたが、教職課程を履修している皆さんは、引き続き定期的にポータルサイトをチェックいただくことをお願いします。
2	大学院生が行うティーチングアシスタントの業務報告について、近年ではMoodle上での提出が可能になり、利便性が向上してはいるものの、いまだに学生と担当教授双方の印鑑や署名が必要であったり、最終的に出勤簿等の原本の提出が必要であったりするので、円滑でスムーズなオンライン作業での報告が可能な仕組みを構築してほしい。	学務課 (ファカルティ支援担当)  人事労務課	TA出勤簿兼勤務確認書のオンライン化については、かねてよりTAの皆様からご要望いただいております。今年度までのTAには間に合わず誠に申し訳ございませんが、来年度より、出勤簿画像ファイルの電子提出(Moodle提出)のみで完結し紙の原本提出が不要となるよう、現在鋭意検討中です。引き続き改善を進めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。
3	授業・事務などのオンライン化について柔軟性のある対応と改善を望む。  新型コロナ禍の影響で仕方ないことではなく、オンライン化は通信技術の進歩によるコミュニケーションの様態の変化にしたがって発展すべきことに対して、大学側がいつも対面の必要性のみを考え、オンライン化に対するネガティブな態度をとっているように見える。 大学は異なる役割を果たしていると思ひ、学部生をはじめ学生のコミュニケーション能力などを育つ場であり、博士課程の学生の研究能力や学術力を向上させる場でもある。すべては対面しないといけないことはない。むしろ対面の場合時間の無駄遣いになることなどが多いと思う。これに対して、大学側が授業を原則対面で実施することで、先生方や学生のほうが選ぶ余地が少なく、確かに申請すればオンライン受講が可能だが、それはあくまでも特別扱いにすぎない。コロナをきっかけに今後にも柔軟に対応すべきことだと思ふ。	学務課	新型コロナウイルス感染症によって、進めたオンライン授業等の有効性は十分理解しております。 そのため、学内でも引き続き、授業等の性質や目的等を勘案しオンライン化することも検討しておりますが、大学として学生の皆さんが豊かな人間性を涵養するためには、対面による学生同士や学生と教職員の間の人的な交流によって、大学における教育・学びの重要な要素であると認識しております。 上記の理由により、本学の授業は原則対面で実施していただくよう先生方をお願いしているところですのでご理解いただきますようお願いいたします。
4	かつて社会科/地歴公民の教職課程をとっていたが、隔年開講の授業が必修になっていることが強い不安だった。(1, 2年時にそれらの授業を受けられないと、3, 4年時に受けることになるため。) また、今年の一年生は隔年開講の授業を優先し、他の必修の授業を調整するなどしているようだ。隔年開講の授業は今後も教職課程の必修になるのか。	学務課	学生の皆さんが必修科目の履修年度のことでご不便をおかけして申し訳ありません。隔年開講している理由は、学生の皆さんに多様な授業を履修・選択できるように調整したためです。そのため、今後も教職課程の一部の必修科目は隔年開講となりますことをご理解いただければ幸いです。

## 学生懇談会 大学に対する意見・質問事項一覧

○教務(教育課程、履修登録、教員免許、各種証明書等)に対する意見・質問・要望等			
	意見・質問事項	担当部署	回 答
5	<p>取得した単位のすべてが卒業に必要な単位としてカウントされるわけではないため、単位計算に不安を覚えている方が多くいると感じている。alaginに取得単位ではなく、実際にカウントされる単位を表示させることはできないのか。</p>	学務課	<p>学修状況(alagin)は個々の科目についての成績情報を掲載しています。卒業要件については4年次に学務システム(学内のみアクセス可)で確認できますので、そちらをご利用ください。</p>

学生懇談会 大学に対する意見・質問事項一覧

○大学全般(施設関係、保健管理センター、図書館等)に対する意見・質問・要望等			
	意見・質問事項	担当部署	回 答
1	<p>理学部3号館の各研究室の冷房設備が古すぎて研究室への長時間滞在に不安を感じる。今年の夏は、事務室と学生室の冷房が止まっていたと伺った。近年は酷暑が問題になってきており、冷房等の整備は最優先にすべき。</p> <p>また、理学部3号館内にあるサーバー室の冷房が止まったら数千万円の損失になるはず。2018年の返答で本学の収入が減っているという回答を見た。たしかにかなり巨額の金額を動かさなければならぬが、サーバー室の冷房が止まってしまった際の損失を考えると、やはり早急に動き始めるべき問題。理学部3号館の冷房を安定に稼働させられるよう、一刻も早く全て入れ替えてほしい。</p>	<p>施設課 学務課 (ファカルティ支援担当)</p>	<p>空調設備含め、本学は建物の老朽化がすすみ、毎年相当額を工事費に投入する必要があるため、年度計画を策定し、順次更新を行っている状況です。現在、大学本館及び総合研究棟の空調設備がもっとも古く、この2棟を優先して実施する予定でしたが、今夏の理学部3号館の故障を受け、理学部3号館の次年度実施を検討しております。また、理学部3号館5階サーバー室の空調設備については、本年度中に1台更新を実施する予定です。</p> <p>工事期間中につきましては、みなさまのご理解ご協力をお願い致します。</p>
2	<p>理3-701室の設備が古すぎるので、共2-201のような設備への改善を求める。特に、プロジェクタの不具合により、大学院ガイダンスで30分以上待たされたこともあると聞いた。椅子も硬い。ハイブリッド受講のための電源コンセントも全く足りなく、延長コードを延ばすなどでは学生数的にも対応できない。AV設備も2000年代前半から変わっていないらしく、授業に支障が出ている。</p> <p>理3-701は共2-201と同様に、様々な学科が使う重要な大部屋。また、コロナ禍とはいえ学外の方がくるイベントも増えているので、来年以降対面のオープンキャンパスなどを再開するかもしれないことも考えると、検討する価値はあると思われる。</p>	<p>学務課</p>	<p>プロジェクタ、AV機器の不具合によりご迷惑をおかけしています。理3-701のプロジェクタは、今年度中に新しいものに交換する予定となっています。交換が完了するまで、いましばらくお待ちください。</p> <p>電源数については、必要数を学務課でとりまとめて施設課に対応を依頼します。</p>
3	<p>理学部3号館の2階にラウンジがあったと聞いた。向かいの大部屋と合わせ、学生が一番使いやすい場所なのに、全く使っていない。工事の際の移動場所にしても、全学的な規模で検討するなどして、部屋の割当をもっと工夫してほしい。</p>	<p>学務課 (ファカルティ支援担当)</p>	<p>理学部3号館2階のラウンジ及びその向かいにある会議室は、もともと教授会やセミナー、講義等に使用する部屋という位置づけであるため学生さんへの貸出等は考えていません。現在は大規模改修工事により他学部の教室・研究室等の代替として使用しています。</p>
4	<p>理学部2号館南側の理学部3号館と繋がるアスファルト部分の道が全体的に陥没しているため、雨が降ると道幅いっぱい水溜りができてしまい通行不可になる。特に梅雨時期は教室移動の際などかなり困った。学内には車椅子の方もいる。道路の整備工事をしてほしい。</p>	<p>施設課</p>	<p>工事期間、工事費等含めて整備に向け検討致します。</p>

## 学生懇談会 大学に対する意見・質問事項一覧

○大学全般(施設関係、保健管理センター、図書館等)に対する意見・質問・要望等			
意見・質問事項	担当部署	回 答	
5	共通講義棟3号館4階女子トイレの便座が7月の真夏にも関わらず常に高温で困った。夏だけは暖房便座を切ってほしい。	施設課	省エネのために夏季は暖房便座を切るようにしています。切り忘れがあったとのことですので、来年度以降は切り忘れがないよう注意致します。
6	大学には図書館のほかに図書室・資料室が複数あり、場所・開室日と時間がそれぞれである。資料や書籍は各専攻の学生が利用しやすいためにそれぞれのところにあると考えられるが、利用上には実に不便。図書や資料の置く場所に関わらずに、すべて図書館により管理し調達できて、そして予約と受け取りは図書館のHPとカウンターでできるという提案はいかがか。	図書・情報課	図書室・資料室の資料も原則として図書館で受入整理しているため、図書館の蔵書検索システム(OPAC)で検索することができます。蔵書データは図書館で管理していますが、各図書室・資料室は主として専攻の学生、教員向けにサービスを行っているため、専攻外の学生からは開室時間や利用方法が分かりにくい状況であることは附属図書館でも認識しています。それらを解消するため、附属図書館では、図書館ウェブサイト内に学内図書室・資料室の案内ページを作成しているほか、OPAC検索結果からそれぞれの利用案内を見られるようにしています。図書館がすべての学内図書室の窓口となってはどうかというご提案も、有難うございます。残念ながら、附属図書館では人的余裕はなく、また、各図書室・研究室の資料は専攻の学生や教員がいつでも参照できるよう持出し不可となっている資料も多数あります。引き続き、ご自身で訪問利用ください。資料室の場所や開室時間などが不明な際は、附属図書館までお問い合わせください。
7	理学部1号館と2号館でZOOM授業を複数人で受けていると落ちてしまい授業に支障が出ているので、回線を改善して頂きたい。	図書・情報課	理学部1号館では講義室の無線アクセスポイントを強化しました。また、理学部2号館でも講義室である405、507室の無線アクセスポイントを最新のものに交換しました(2022/10/25交換)。講義室で安定した接続ができない場合は調査しますので情報基盤センターまでお声がけください。
8	Web面接が出来るような、出来る限り静かで雑音の少ない場所は校内にないか。オンラインによる就活と対面授業の両立が難しいという声をよく聞く。	学生・キャリア支援課	事前に予約システムによる予約が必要となりますが、StudentCommonsのスタジオ1～2、StudentCommonsAnnexの共用部室1～4はWeb面接にもご利用いただけるかと存じます。
9	大学構内に、学生や教授が自然と集って歓談ができるような憩いの場が少ないと感じる。私自身、欧州の大学に交換留学に行った際、教室の近くの小さな談話スペースや憩いの場での授業外コミュニケーションの中で、学問に関する理解がより深まったり、かけがえのない財産となる人脈が構築出来たりなど、学生生活を有意義にする貴重な時間を過ごすことができた。本学にも、居心地のいい休憩スペースのより一層の充実を目指してほしいと感じる。	施設課	敷地、教室共に限りがありますので、大型改修時にはスペースの再配分等を行い、共用スペースを充実するよう計画、実施しております。さらなる充実のためにも、みなさまのご理解ご協力をお願いいたします。

## 学生懇談会 大学に対する意見・質問事項一覧

○大学全般(施設関係、保健管理センター、図書館等)に対する意見・質問・要望等		
意見・質問事項	担当部署	回 答
10	学生・キャリア支援課	<p>現在、事前に届出いただいた公認サークルの名簿に記載されている他大学学生につきましては、学生証を提示することで入構することができます。(各サークル代表の方へ連絡し、6月15日より入構可能となりました。)</p>
11	新型コロナ感染症予防対策室 (人事労務課)	<p>「新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動ガイドライン」におけるレベルは、いまだに新型コロナウイルスの流行が終息したといえる段階ではないため「0」とはならない状況です。</p> <p>一方、学内外の感染状況や社会の状況の変化に鑑み、一律に「レベル1」とすることなく項目ごとに評価を行い、項目によっては「レベル0」または「レベル0相当」として、緩和を図っております。</p> <p>なお、依然として新型コロナウイルス感染による、感染爆発や健康障害が懸念されることから、感染リスクが高いと判断される行動に対してはレベルを下げず、警戒を促しております。</p> <p>また、当該ガイドラインにおけるレベルは、学内外の感染状況や社会の状況の変化に応じ、随時見直しをしております。</p>
12	図書・情報課	<p>ILLは、お申込みを受けた後、人手での作業が多いサービスです。学内に所蔵がないかの確認、お茶大で契約している電子ジャーナルがないかの確認、相手館に依頼する際必要な情報(ページなど)が抜けていないかの確認、著作権法内に収まるかの確認、と、1件ずつ細かなチェックをかけています。</p> <p>通常は1週間程度でご用意できるのですが、お申込みの件数が多い時期や、限られた館しか所蔵していない資料は、お時間をいただくこととなります。お申込みの際に、学内所蔵や電子ジャーナルチェック、正確な情報入力がありますと、取り寄せの時間短縮が図れますので、ご協力ください。</p> <p>電子媒体での取り寄せについては、著作権法上の制限や、電子ジャーナルの場合は契約上の制限により、電子媒体で提供できる資料は限られています。ご了承ください。</p>
13	図書・情報課	<p>全学的に契約している電子ジャーナルやデータベースは、利用状況などを考慮したうえで限られた予算の中で契約しています。昨今の円安の影響も大きく、これ以上の電子ジャーナルの契約は予算的に大変厳しい状況です。ご理解いただけますと幸いです。</p> <p>少し時間はかかりますが、ILL(InterLibrary Loan: 図書館相互貸借)での文献の取寄せなどの利用もご検討ください。本学の学部生、院生の方は取り寄せにかかる費用は図書館で負担しています。</p> <p>専門的な雑誌は学科・コース・講座の予算で購入されている場合もあります。指導教員の先生にもご相談いただければと思います。</p>



学生懇談会 大学に対する意見・質問事項一覧

○大学全般(施設関係、保健管理センター、図書館等)に対する意見・質問・要望等			
	意見・質問事項	担当部署	回 答
14	体調不良時に一時的に横になって休める場所が欲しい。	保健管理センター	保健管理センターでは、新型コロナウイルス感染症下では原則としてベッドでの休息は行わず、消毒が可能なレザーソファを用いた休息を行うこととしています。休息時間は20分-30分程度としており、それ以上の休養を必要とする場合はむしろ帰宅して体調を整える、あるいは外部医療機関受診を指示する場合があります。休養を求めて来診した場合でも、この場での休息ではなく帰宅あるいは医療機関の受診を勧めることがあります。文教育学部の改修に伴う研究室や教室の逼迫という事情もあり、大学内には保健管理センターを除き、横になって休める場所は他にないのが現状です。
15	業者の使用する清掃用具に酷い悪臭があり、衛生面での不安がある。最近では改善されたようだが、引き続き配慮しての役務調達をお願いしたい。	企画戦略課（危機管理）	清掃業者には清掃内容、清掃用具清潔化の衛生指導を行っていきます。今後もしお気づきになりましたか、ご連絡をいただければすぐに対応いたします。
16	標準使用年限が超過していると思われるウォシュレット機器を更新してはいかがか。	施設課	学内にはウォシュレット機器が未設置のトイレもあり、計画的に整備を進めています。本年度は総合研究棟のトイレのウォシュレット機器を新設、更新致しました。

## 学生懇談会 大学に対する意見・質問事項一覧

○その他 意見・質問・要望等			
	意見・質問事項	担当部署	回 答
1	<p>学生懇談会とは大学側が設けられる真摯に問題を解決するために学生の意見を聞くことを目的としているのか。過去のものを掲載したURLを見る限り、公式的で・現実味のない回答から「解決」への道はあまり見えずに、すでに実行された物事を継続する傾向がよくみられる。それだけではなく、毎年何回も学生に対するアンケートのフィードバックも同じく感じている。</p> <p>「現在のところ解決できません」というのも一種の真実の伝え方だと思うが、何もかも「検討する」となると、その後はどうなっているのか、進捗状況は一切報告されなく、我々学生たちも大学生活に実感できなかつたら、大学に対する信頼感が崩れると思う。</p>	関係各課	<p>学生懇談会や学期毎に実施しているアンケートではご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>すでに対応させていただいているものもありますが、いただいたご意見が実現できていないものもあることを申し訳なく思っています。大学としても引き続き要望をくみとり、皆さんの大学生活をより良いものとしていきたいと考えております。予算との兼ね合いもあり、今すぐ実現できるものばかりではありませんが、引き続きこのような機会にご要望をお寄せいただきますようお願いいたします。</p>
2	<p>一般ではなく学内向けでもよいので、ナーサリーの最近の情報を得やすいようにしてほしい。いざ利用を検討しようとしても、ウェブページが数年間更新されていないと不安に感じる。(入学前に子の入所先として検討した際、ナーサリーが都の「指導監督基準を満たす旨の証明書」を取得しておらず、自治体の補助が受けられないため検討対象から外した。今回改めて調べたところ、本年9月に当該証明書が新規交付されたことを都の公表情報で初めて知った。自身で調べるのが大前提とはいえ、情報が入手しやすいと助かる。)</p>	附属学校課	<p>ご不便をおかけしまして大変申し訳ございません。「指導監督基準を満たす旨の証明書」の交付を受けたこと及びこれに伴う利用料の改訂について、現在学則の改正などを行っているところです。これについては、今後ウェブページで公表予定です。ご指摘のとおりウェブページでの情報発信は、学内外問わず、すべての利用者の方にとって大切なことであると認識しており、現在保育所と附属学校課で更新する体制を検討しています。日々の保育業務の合間を縫っての更新作業となりますので、常に最新の情報を発信し続けるのは、運営体制上、難しいところですが、鋭意努力してまいります。ご意見、ご質問などございましたら、まずはお電話でお問い合わせください。今後ともいずみナーサリーのご利用をよろしくお願いいたします。</p>
3	<p>非公認のサークルの代表を務めている。昨年度必要な手続きを踏んで準公認サークルとなり、一年間きちんと活動ができれば公認サークルになれる、というお返事を頂いたが、特に進展がない。改めてサークル公認のための手続きや条件について調べてみたが、見つけることができなかった。基準が公に示されていないことを疑問に感じたため、非公認サークルが公認サークルになるための手続きや条件などをわかりやすい場所に明記して欲しい。</p>	学生・キャリア支援課	<p>課外活動団体の公認について、今後大学ホームページにご案内を掲載いたします。</p>